

2016年12月

## 情報化社会における子どもの環境と教育の現状と課題

情報学部 経営情報学科 新井ゼミ  
B3P21065 渋谷 守

### 【卒業論文概要】

現在の私たちの教育環境は、戦後、高度経済成長といった経済の発展により、目まぐるしく変化してきた。そして特に子供たちは、その影響を色濃く受けてきた1つの要素であると同時に、これから先も影響を受け続け、更には将来、次世代の子供たちに影響を与える存在になるのである。

その中でも、特に子供たちの教育環境に影響を及ぼしたと考えられるのが、「情報化社会の発展」である。この「情報化社会の発展」により、通信機器の発達やインターネットの発達、普及化が広まった日本において、教育分野は飛躍的な発展を遂げたとともに、その環境を取り巻く教員、学生、保護者に対して、多くの課題をも生み出してきた。学習方法や教員、生徒、保護者とのコミュニケーション手段、家庭での過ごし方など、挙げられるものは様々である。

特に、昨今では未成年が児童売春といった犯罪に巻き込まれるケースや、情報機器を利用したいじめ問題、SNS上での犯罪自慢による一連の騒動等といった問題が多くのメディアで取り上げられてきた。私は、そんな情報化社会の中で、日本の教育環境をはじめ、子供たちを含めた様々な人たちがどのような影響を受けてきたのか、そして今後どのようにすれば情報化社会がより良いものになっていくのかを調べ、考察してみた。